＜ユート・ブレーン　ニュースリリース＞

世界の大型医薬品売上ランキング 2007

ユート・ブレーン株式会社（大阪06-6202-7787、東京03-3270-8741）は、毎年恒例の「世界の大型医薬品売上ランキング2007年版」をまとめた。これはメーカー各社の大型医薬品売上を単純に並び替えてランキングしたものではなく、同じオリジナル成分のブランド品売上を合計して世界における売上をまとめたもの。

世界で20億ドル以上の医薬品は55製品へ

ユート・ブレーンのまとめている大型医薬品売上ランキングは、各社の決算発表（アニュアル・レポート、連結決算短信及び補足資料等）に基づき、公表されている医薬品の売上を成分（一般名）で集計したもの。ただし、同成分でも製剤や薬効の異なるものは合計していない（吸入容器の異なる喘息薬や「プログラフとプロトピック」等）。創製したメーカーのロイヤルティやバルク売上等も加えており、「**創製された成分が世界でどれだけの売上（ブランド品のみ）を創り出したか**」をまとめたものである。例えば、武田薬品のブロプレス（米名アタカンド）の場合、武田の連結売上に欧米のライセンス先であるアストラゼネカの売上を加えて世界売上としている。欧米のメーカーは主に2007年12月期決算、日本のメーカーは主に2008年3月期決算（原則として連結ベースの年次決算期）の数字を使っており、為替レートはすべて2007年12月末のレートを使って米ドルに換算している（2006年の数字はいずれも同年12月末）。なお、2007年末のユーロは2006年末に比べて11％強高く、円は6％上昇したので、それらの通貨で公表される製品は、例えば伸びがゼロでもドル換算数字は増えている。

次頁の表で、左端の順位の数字にアミを掛けたものは日本未発売の製品（2008年7月1日現在）で、製品名にアミを掛けたものはバイオ医薬品、一般名にアミを掛けたものは日本のメーカーが創製した製品を示している。

2007年大型医薬品売上の概要

◆超大型品は頭打ち：40億ドル以上は前年と変わらず15製品

◆20～40億ドルの製品は32⇒40製品で、売上合計は33％増

2005年のランキングは40億ドル以上が9製品で2006年には15製品へ増えたが、2007年も同じく15製品で、超大型品は頭打ちの傾向が強まった。次の20億～40億ドルの製品は、2006年の32製品から2007年には40製品に増えた。これは大型品の一部（抗うつ剤ゾロフト等）がジェネリックに切り替わって消える一方、バイトリン、スピリーバ、ミカルディス、オルメテックなど比較的新しい製品が20億ドル以上へランクインしたことによる。また、リツキサン、エンブレル、ハーセプチン、アバスチン、ヒュミラなどバイオの大型品はいずれも20％以上増え、さらに大型化が進んだ。20～40億ドルの製品売上合計は、2006年の867億ドル（32品目）から2007年は1151億ドル（40品目）へ33％も増加しており、このクラスの大型品への集中度が高まっている。40億ドル以上の15製品の売上合計は、8％増の885億ドル。20億ドル以上の55製品の売上合計は21％増の2036億ドルに達した。

©Uto Brain

世界の大型医薬品売上ランキング2007

順	製品名	一般名	薬効等	メーカー	百万ドル 2007年	前期比	百万ドル 2006年
1	リピトール	アトルバスタチン	高脂血症/スタチン	ファイザー/ｱｽﾃﾗｽ/ｱﾙﾐﾗﾙ	13,682	-1%	13,793
2	プラビックス	クロピドグレル	抗血小板薬	サノフィ･A/BMS	8,325	34%	6,200
3	セレタイド/アドベア	ｻﾙﾒﾃﾛｰﾙ+ﾌﾙﾁｶｿﾞﾝ	抗喘息薬	グラクソSK/ｱﾙﾐﾗﾙ/UCB	7,154	8%	6,627
4	リツキサン/マブセラ	リツキシマブ	非ホジキンリンパ腫	ﾊﾞｲｵｼﾞｪﾝ･ｱｲﾃﾞｯｸ/ロシュ	5,826	22%	4,781
5	ｴﾎﾟｼﾞｪﾝ/ﾌﾟﾛｸﾘｯﾄ/ｴｽﾎﾟｰ	エポエチンα	腎性貧血	アムジェン/J&J/キリン	5,746	-5%	6,029
6	エンブレル	エタネルセプト	関節リウマチ/乾癬他	アムジェン/ワイス/武田	5,442	22%	4,475
7	レミケード	インフリキシマブ	関節リウマチ/ｸﾛｰﾝ病他	J&J(ｾﾝﾄｺｱ)/SP/田辺三菱	5,230	18%	4,425
8	ネクシアム	エソメプラゾール	抗潰瘍剤/PPI	アストラゼネカ	5,216	-2%	5,182
9	ディオバン/ニシス	バルサルタン	降圧剤/ARB	ノバルティス/ｲﾌﾞｾﾝ	5,091	17%	4,350
10	ジプレキサ	オランザピン	統合失調症薬	イーライリリー	4,761	9%	4,364
11	リスパダール	リスペリドン	統合失調症薬	J&J	4,697	9%	4,183
12	シングレア/キプレス	モンテルカスト	抗喘息/気管支喘息	メルク/キョーリン	4,436	20%	3,705
13	ﾊﾟﾝﾄﾌﾟﾗｿﾞｰﾙ/ﾌﾟﾛﾄﾆｯｸｽ	パントプラゾール	抗潰瘍剤/PPI	ﾆｺﾒｯﾄﾞ(ｱﾙﾀﾅ)/ﾜｲｽ/ﾚｺﾙﾀﾞﾁ	4,420	8%	4,079
14	ハーセプチン	トラスツズマブ	抗がん剤/HER2乳がん	ｼﾞｪﾈﾝﾃｯｸ/ロシュ/中外	4,311	23%	3,222
15	セロクエル	フマル酸クエチアピン	統合失調症薬	アストラゼネカ/ｱｽﾃﾗｽ	4,198	18%	3,557
16	アクトス	塩酸ピオグリタゾン	2型糖尿病	武田薬品/リリー	3,901	19%	3,275
17	エフェクサー	ベンラファキシン	抗うつ剤/SNRI	ワイス/アルミラル	3,868	2%	3,793
18	ロベノックス	エノキサパリン注	抗血栓薬	サノフィ・アベンティス	3,847	13%	3,215
19	タケプロン/ﾌﾞﾚﾊﾞｼｯﾄﾞ	ランソプラゾール	抗潰瘍剤/PPI	武田/TAP/アボット他	3,796	-10%	4,218
20	レクサプロ/ｼﾌﾟﾗﾚｯｸｽ	エスシタロプラム	抗うつ剤/SSRI	ﾙﾝﾄﾞﾍﾞｯｸ/ﾌｫﾚｽﾄ/ﾚｺﾙﾀﾞﾁ	3,698	19%	3,107
21	アバスチン	ベバシズマブ	抗がん剤/結腸・乳がん	ロシュ/ジェネンテック	3,648	41%	2,430
22	アラネスプ	ダルベポエチンα	腎性貧血	アムジェン	3,614	-12%	4,121
23	ノルバスク/アムロジン	ベシル酸アムロジピン	降圧剤/Ca拮抗剤	ファイザー/大日本住友他	3,601	-33%	5,407
24	コザール/ﾆｭｰﾛﾀﾝ	ロサルタンカリウム	降圧剤/ARB	メルク	3,350	6%	3,163
25	ブロプレス/アタカンド	カンデサルタン	降圧剤/ARB	武田薬品/AZ/ｱﾙﾐﾗﾙ	3,327	15%	2,883
26	フォサマック/ボナロン	アレンドロン酸ﾅﾄﾘｳﾑ	骨粗鬆症/ﾋﾞｽﾎｽﾎﾈｰﾄ	メルク/帝人	3,211	-1%	3,250
27	クレストール	ロスバスタチン	高脂血症/スタチン	塩野義/アストラゼネカ	3,154	43%	2,212
28	ヒュミラ	アダリムマブ	関節リウマチ/乾癬他	アボット・ラボラトリーズ	3,064	50%	2,044
29	グリベック	メシル酸イマチニブ	抗がん剤/骨髄性白血病	ノバルティス	3,050	14%	2,554
30	ニューラスタ	ﾍﾟｸﾞﾌｨﾙｸﾞﾗｽﾁﾑ	好中球減少症G-CSF	アムジェン	3,000	11%	2,710
31	ｸﾗﾋﾞｯﾄ/ﾘｰﾊﾞｷﾝ/ﾀﾊﾞﾆｯｸ	レボフロキサシン	合成抗菌剤/ﾆｭｰｷﾉﾛﾝ	第一三共/J&J/サノフィA	2,994	9%	2,740
32	アリセプト	塩酸ドネペジル	アルツハイマー病	エーザイ/ファイザー	2,994	21%	2,483
33	ランタス	ｲﾝｽﾘﾝｸﾞﾗﾙｷﾞﾝ	糖尿病/ｲﾝｽﾘﾝｱﾅﾛｸﾞ製剤	サノフィ・アベンティス	2,991	29%	2,200
34	パリエット/ｱｼﾌｪｯｸｽ	ラベプラゾール	抗潰瘍剤/PPI	エーザイ/J&J	2,924	8%	2,703
35	アバプロ/アプロベル	イルベサルタン	降圧剤/ARB	サノフィ・A/BMS	2,795	15%	2,437
36	フローマックス(ﾊﾙﾅｰﾙ)	塩酸タムスロシン	前立腺肥大/αﾌﾞﾛｯｶｰ	ｱｽﾃﾗｽ製薬/ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰ・I	2,777	22%	2,284
37	ノボラピッド/レベミル	ｲﾝｽﾘﾝｱｽﾊﾟﾙﾄ/ﾃﾞﾃﾐﾙ	インスリンｱﾅﾛｸﾞ製剤	ノボ・ノルディスク	2,767	35%	1,916
38	バイトリン(合剤)	ｴｾﾞﾁﾐﾌﾞ+ｼﾝﾊﾞｽﾀﾁﾝ	ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ低下剤	メルク/SP製薬	2,761	43%	1,933
39	タキソテール	ドセタキセル	抗がん剤/乳がん他	サノフィ・アベンティス	2,760	12%	2,313
40	スピリーバ	臭化チオトロピウム	COPD/慢性気管支炎	ベーリンガー・I	2,639	30%	1,823
41	ジルテック	塩酸セチリジン	抗ヒスタミン剤	UCB/ﾌｧｲｻﾞｰ/第一三共	2,572	-2%	2,612
42	エビリファイ	アリピプラゾール	統合失調症	大塚製薬/BMS	2,524	28%	1,972
43	トパマックス/トピナ	トピラマート	抗てんかん剤	J&J	2,453	21%	2,027
44	プレベナー	（ワクチン）	小児肺炎球菌ワクチン	ワイス	2,439	24%	1,961
45	ゼチーア	エゼチミブ	ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ低下剤	メルク/SP製薬	2,436	27%	1,925
46	アバンディア	ロジグリタゾン	糖尿病薬/2型糖尿病	グラクソ・スミスクライン	2,435	-22%	3,223
47	エロキサチン/ｴﾙﾌﾞﾗｯﾄ	オキサリプラチン	抗がん剤/結腸直腸	サノフィ・A/ヤクルト	2,423	2%	2,371
48	セレブレックス	セレコキシブ	抗炎症剤/Cox2阻害	ファイザー/アステラス	2,323	14%	2,039
49	タミフル	リン酸オセルタミビル	インフルエンザ	ギリアドｻｲｴﾝｼｽﾞ/ロシュ	2,267	-10%	2,520
50	シンバルタ	デュロキセチン	抗うつ剤/SNRI	リリー/ベーリンガーI	2,231	61%	1,385
51	ミカルディス	テルミサルタン	降圧剤/ARB	ベーリンガー・I/ｱｽﾃﾗｽ	2,212	30%	1,700
52	ラミクタール	ラモトリジン	抗てんかん薬	グラクソ・スミスクライン	2,191	18%	1,892
53	アクトネル/ベネット	リセドロン酸ﾅﾄﾘｳﾑ	骨粗鬆症	P&G製薬/ｻﾉﾌｨA/武田他	2,059	3%	1,992
54	アンビエン/マイスリー	酒石酸ゾルピデム	睡眠薬	サノフィ・A/アステラス	2,033	-28%	2,838
55	オルメテック/ベニカー	オルメサルタン	降圧剤/ARB	第一三共/フォレスト/興和	2,014	39%	1,447

ユート・ブレーンの調査による

©K.Nagae/Uto Brain 2008

トップ製品は引き続きリピトールだが、同クラスのスタチンにジェネリックが増えた影響で、1％減の136.8億ドルとなった。2位のプラビックスは、2006年には一時的にジェネリックが登場した影響で3位に下落していたが、その影響がなくなり、34％増の83.3億ドルとなって2位に復帰し、グラクソ・スミスクラインのセレタイド（日本名アドエア、2007年6月発売）と入れ替わった。

50億ドル以上の上位9品目で見ると、2006年には降圧剤のノルバスクが5位に入

っていたが、これはパテント切れで33％減って23位となり、新たにノバルティスの降圧剤ディオバンが入った。つまり、超大型製品9品目は、パテントが切れたものを除けば、多少ランクが入れ替わってもほぼ同じ製品であった。

◆薬効クラスの変化

いわゆるスタチン製剤（コレステロール低下剤）で20億ドル以上のものは合剤のバイトリンを含めて3製品（リピトール、バイトリン、クレストール）あるが、ゾコール（リポバス）やメバロチンは欧米では多くがジェネリックとなり、上位から消えた。

現在伸びているARBの降圧剤は、主要6製品がすべて20億ドル以上となってランクインし、市場が急拡大している（下記表参照）。抗潰瘍剤のPPIは、20億ドル以上に4製品あり、これは2005年以降同じだが、日本の武田薬品創製のタケプロンはマイナスとなり、エーザイのパリエットも伸びが鈍化して2006年よりランクを落としている。

バイオ製剤は好調で、リツキサンは06年の7位⇒07年4位、エンブレルは8位⇒6位、レミケードは9位⇒7位、乳がんのハーセプチンは22位⇒13位、アバスチンは36位⇒21位へ躍進した。一般的な慢性疾患薬の多くがパテント切れで順位を落とす一方、バイオ製剤が売上を伸ばしており、バイオ医薬品を持つことが重要になっている。

◆日本未発売の製品

表の20億ドル以上の55製品のうち、10製品が2008年7月1日現在で日本未発売となっている。PPIのパントゾール（パントプラゾール）は日本で発売されないが、他の多くは日本でも開発中または申請中である。アストラゼネカのネクシアム（エソメプラゾール）は検討中。52位の抗てんかん薬ラミクタールはうまくいけば10月に正式承認される見込み。

◆日本のメーカーがオリジナルのものは10品目

日本のメーカーが創製した医薬品（一般名にアミのかかっているもの）は、55品目のうち、10品目となった。PPIとARBがいずれも2品目ある。

＜売れ筋の薬効が変化＞

今まで薬効クラスとしては、スタチン製剤と呼ばれるコレステロール低下剤が最大のクラスだったが、スタチン市場は2005年にピークとなり、2006年は1％減、2007年は4％減で231億ドルとなった。スタチンに次ぐ薬効クラスの抗潰瘍剤PPI（プロトンポンプ阻害剤）も伸びを続けてきたが、2007年には1％減で初のマイナスとなった。

世界のARB市場　　百万ドル

製品名	一般名	販売メーカー	売上07	前期比
ディオバン/ニシス	バルサルタン	ノバルティス/ｲﾌﾞｾﾝ	5,091	17%
コザール/ﾆｭｰﾛﾀﾝ	ロサルタン	メルク	3,350	6%
ブロプレス/ｱﾀｶﾝﾄﾞ	カンデサルタン	武田薬品/AZ/ｱﾙﾐﾗﾙ	3,327	15%
アバプロ/ｱﾌﾟﾛﾍﾞﾙ	イルベサルタン	サノフィ・A/BMS	2,795	15%
ミカルディス	テルミサルタン	ベーリンガー・I/ｱｽﾃﾗｽ	2,212	30%
オルメテック/ﾍﾞﾆｶｰ	オルメサルタン	第一三共/フォレスト	2,014	39%
その他	エプロサルタン/その他の合剤等		284	92%
		合　計	19,073	18%

©Uto Brain

PPIに代わり、スタチンに続く大型薬効クラスとなったのが、降圧剤のARB（または一般名の後ろからサルタン製剤と呼ぶ）で、これは18％増の191億ドルに達した。2003年には約96億ドル市場だったので、4年で倍増した。（すべてユート・ブレーンの調査による。）現在はバイオ医薬品が伸びているが、一般的な慢性疾患薬では、このように市場の拡大している薬効の製品を持つことがメーカーにとって重要である。

◆**参考**：この調査や薬効別医薬品売上ランキング、世界の医薬品メーカーランキングの詳細は、弊社発行の月刊誌「ファルマ・フューチャー」に掲載しています。

＜ファルマ・フューチャー掲載内容＞

2008年6月号：**薬効別医薬品売上特集**（スタチン、降圧剤、PPI、抗うつ剤、統合失調症薬、糖尿病薬、抗生物質、抗喘息・アレルギー剤、てんかん薬他を薬効別に掲載）
世界の医薬品メーカー100社ランキング（医薬品売上5億ドル以上の108社掲載）

2008年7月号：**世界の大型医薬品売上ランキング**（このリリースの4億ドル以上の240製品売上ランキング）　薬効別売上（抗生物質、抗がん剤、抗リウマチ薬、アルツハイマー病薬、抗HIV薬、EPO製剤、パーキンソン病薬）

2008年8月号：**医薬品メーカーの経営数字ランキング**、**2008年上半期の主要薬効売上**（ARB、統合失調症薬、PPI、抗うつ剤、スタチン、抗リウマチ薬）

※これらは有料です。ご了承下さい。（6・7月号は各10000円＋税、他は8000円＋税です。）
※年間の重要記事を集めた「ファルマ・フューチャーイヤーブック2007」（42000円）も発売中です。
詳細は、弊社サイト www.utobrain.co.jp　をご覧下さい。

本リリースに関する連絡先：大阪　永江研太郎
TEL 06-6202-7787/FAX 06-6202-7786　E-mail: **ubinternational@utobrain.co.jp**
住所（大阪本部）：〒541-0044 大阪市中央区伏見町3-2-4　淀屋橋戸田ビル4Ｆ
ユート・ブレーン株式会社
（2008年5月より移転し、住所が変更されています。）

お願い：このリリースのデータを利用される場合は、必ず、出所（出典）として「ユート・ブレーンの調査による」とご記入の上、上記大阪（永江）宛に掲載紙をお送り下さい。ホームページ等へ掲載される場合は、メールにてURLをご連絡下さい。（限定された出版物等の場合は、掲載箇所の頁だけお送りいただいても結構です。）

参考 ： ユート・ブレーンは、「医薬品産業の国際的事業展開の現状について」など、いくつかの厚生省の委託調査を受けた実績を持つコンサルティング・調査会社です。2006年の「世界の大型医薬品売上ランキング」及び「世界のメーカーランキング」は、厚労省の2007年8月30日の「新医薬品産業ビジョン」で使われています。ユート・ブレーンは現在、フランス本社のセジデム（ユーロネクスト上場）のグループ会社となっています。

2008/08
K.Nagae
©Uto Brain